



赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」(ボラサポ)  
第16回助成速報 東日本大震災の支援活動に累計約33億円を助成  
～被災地域で多機関が連携したコミュニティづくりのための拠点設置等に助成～

赤い羽根の中央共同募金会(会長・斎藤十朗)が運営する東日本大震災の被災地を支えるボランティアやNPO活動を支える支援金「赤い羽根 災害ボランティア・NPO活動サポート募金(ボラサポ)」による団体助成が、第16回助成で 累計2,794件、総額33億848万円となりました。応募総数は94件と、第15次と比べてほぼ横ばいとなりましたが、応募額は第13次以来3回ぶりに2億円を超えました。

【第16回助成決定について】

- ◎第16回助成速報 61件、1億2,604万円(累計2,794件、33億848万円)
- ◎募金額計44億967万9,686円

震災後4年を過ぎ、若い世代とともに課題解決の方法を探る活動や、若い世代が中心になって進める活動など、若者がコミュニティに関わるしきみを整えることで、これからの地域社会を作っていこうとする動きが見られました。

【第16次より新たに被災地域でのコミュニティづくりを目指し、重点活動助成を設けました】

ボラサポは第16次より、重点活動助成として、「地域の機関が連携して行うコミュニティづくりのための活動」、「中間支援組織が行う団体の運営基盤整備・人材育成サポートのための活動」、「被災地/避難先の団体が拠点整備を行う活動」等に対し、1000万円を上限とし、助成することとしました。

《第16回助成決定事業より》

NPO 法人レスパイトハウス・ハンズ…助成額906万円 (岩手県一関市)  
一関市で長年にわたり、地元団体を対象に地域づくりの研修会を継続的に開催し、アドバイスをしながら協働のまちづくりを進めてきました。その中間支援団体としての経験を活かして陸前高田市で住民主体の復興・まちづくりを推進しています。陸前高田市では、自力再建や復興住宅への移転によって、新たな地域づくりや地域運営のあり方について課題をもち悩んでいる住民の方が大勢います。しかし、想いを同じくする人同士を繋げる機能が地域には欠けています。このような状況の中、様々な活動団体とネットワークを組み(現所在地元団体・外部団体74団体が登録)、連携、協働しながら住民からの相談事業、地域づくり、人材育成、情報収集等のサポートを行い、コミュニティづくりを進めています。

■ボラサポ次回の応募受付

- ・第17次応募受付期間：2015年5月15日(金)～29日(金)
- ・第17次助成決定：2015年8月下旬(予定)
- ・第17次応募要項公開：<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

第16回応募状況と助成速報 (4月28日現在) 【応募受付期間2015年1月9日～2015年1月23日】

全体	短期活動(1ヶ月未満)	中長期活動(300万円上限)	重点活動(1000万円上限)
(1)応募総数 94件	(1)応募総数 27件	(1)応募総数 61件	(1)応募総数 6件
(2)応募総額 2億2,778万円	(2)応募総額 1,089万円	(2)応募総額 1億5,699万円	(2)応募総額 5,990万円
(3)助成件数 61件	(3)助成件数 20件	(3)助成件数 37件	(3)助成件数 4件
(4)助成総額 1億2,604万円	(4)助成総額 760万円	(4)助成総額 7,948万円	(4)助成総額 3,896万円
(5)1団体平均額 206万円	(5)1団体平均額 38万円	(5)1団体平均額 214万円	(5)1団体平均額 974万円

Facebookページ <http://www.facebook.com/borasapo>

耳寄り情報 更新中!

●お問合せ・くわしい資料は：社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部(担当：武井・城・丁(てい)・戸石)  
TEL：03-3581-3846 (FAX：03-3581-5755)  
メール：kikaku@c.akaihane.or.jp  
ウェブサイト：<http://www.akaihane.or.jp>



2015年4月28日(火)

## 災害ボランティア・NPO活動サポート募金の 第16次助成団体の決定について

### 1. 全体状況

(1) 応募総数	94 件
(2) 応募総額	2 億 2, 778 万円
(3) 助成件数	61 件
(4) 助成総額	1 億 2, 604 万円
(5) 1 団体平均額	206 万円

### 2. 短期活動

(1) 応募総数	27 件
(2) 応募総額	1, 089 万円
(3) 助成件数	20 件
(4) 助成総額	760 万円
(5) 1 団体平均額	38 万円

### 3. 中長期活動 (300 万円上限)

(1) 応募総数	61 件
(2) 応募総額	1 億 5, 699 万円
(3) 助成件数	37 件
(4) 助成総額	7, 948 万円
(5) 1 団体平均額	214 万円

### 4. 重点活動助成 (1000 万円上限)

(1) 応募総数	6 件
(2) 応募総額	5, 990 万円
(3) 助成件数	4 件
(4) 助成総額	3, 896 万円
(5) 1 団体平均額	974 万円

#### ●問合せ先

社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部

電話：03-3581-3846

メール：support@c.akaihane.or.jp

ホームページ：www.akaihane.or.jp

## 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」

### 第16回助成決定に当たって

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(以下、「ボラサポ」と略)の第16次の助成先を決める配分委員会(第18回)を開催しました。

基本的には、応募要項ならびに本ホームページ掲載の「(第1回から第15回までの)助成決定に当たって」の考え方に沿いながら、審査しました。

以下に、今回の応募案件の審査過程で検討した事項について整理し、助成先の選考にあたっての考え方をまとめました。

#### 1. 第16次の応募状況と助成決定状況

##### (1) 応募状況

1月9日から1月23日を受付期間とした第16次募集では、1か月未満の「短期活動」に27件・1,089万円、1か月以上の「中長期活動」に61件・1億5,699万円、重点活動助成に6件・5,990万円の応募がありました(合計:94件・2億2,778万円)。

応募件数は、第15次とほぼ横ばいとなりましたが、応募額は第13次以来3回ぶりに2億円を超えました。これは1,000万円を上限とした重点活動助成を開始したことが大きな要因と考えられます。震災から5年目を迎える被災地において、長期に活動を実施したいという応募が複数見受けられました。これはこの助成プログラムを始めた趣旨に合致するものであり、嬉しく感じたところです。

応募締め切り前の指定期日までに応募した場合に書類不備があった団体には、書類の再提出を求める連絡をしています。第16次では書類不備のため事務局より連絡して再提出があった団体が91%、再提出後要件を満たした団体は77%と、早く提出することの効果が続きました。次回もこのしつみを継続していきます。

##### (2) 全般的な傾向

第16次応募の活動では、次のような傾向が見られました。

- ①若い世代とともに課題解決の方法を探る活動や、若い世代が中心になって進める活動が中長期活動だけで8件ありました。これは中長期活動の12.9%にあたります。活動内容を見ると「若い世代と出会うことで被災した人が元気になる」という世代間交流を目的としたものや、「10年後、20年後の地域を考えるために」「若者が地域コミュニティに関わるしつみを整えることで、将来に渡って持続可能な地域社会づくりを行うために」など、ボラサポの応募要項で重視している「この先を意識した活動」であることがわかりました。
- ②ボラサポに新しく応募した団体の割合が3割を超えました。これは13次以降で最も高い割合です。中長期活動に初めて応募した団体に「ボラサポを知った媒体」について電話で確認したところ、「社協や行政、JCNなどからのお知らせ」が8団体、「インターネットで探した」が6団体、「助成を受けたことのある団体からや説明会で聞いた」が4団体となりました。第16次で新規応募の割合が3割を

超えたということは、活動を続けていてもボラサポのことを知らない、また自分たちの団体が対象になるとは考えていない団体がまだ多くあることの表れであると考えます。残り2回についても、団体への周知を継続していきます。

## 2.今回、検討を行った助成の考え方について

### 〔第16次の審査について〕

#### ①「被災した子ども」の範囲をどう考えるかという点について

ボラサポは助成対象とする活動を「東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア活動等全般」と応募要項で定めています。今回、重点活動助成において「支援対象は被災した子ども(罹災証明書を持った被災者)に限らない」とする仙台市を拠点とした活動の応募がありました。委員会では、「応募要項に照らすと被災した子どもとそうでない子どもを分けずに助成することはどうか」、「対象者の何割が被災しているのかの確認はできないか。あまりに少ないと問題では」などの意見もあり議論を行いました。

その後、委員会ではこのような意見が出ました。「直接的に“被災”していなくても、地震・津波を経験したことは被災したことになるのではないか」、「数年が経っても、余震が起きたときに平静を失う子どもたちを見た。言葉にできない恐怖を経験した子どもたちにとっては、いまだそのときの記憶が大きく残っていることを実感した」。また、「罹災証明書を持った被災者」のみに支援対象を限定することで、かえって周囲から孤立する状況があることなど、対象者を絞らないことに対する合理的な理由が応募団体から示されました。これらに基づき、今回の活動については「被災した子ども」の範囲を拡大して適用することとしました。

震災から4年が経過し、今後もこうした「直接被災していない」人を対象とする活動は増えることが予想されます。今回は精神的に震災の影響が大きいと考えられる子どもが対象であったこと、それ以外の理由についても合理的説明があったことで助成対象とする判断をしました。今後このような応募があった場合にも、その都度状況を確認して判断することにします。

## 3. 第17次以降のボラサポについて

### (1)3県で説明会を開催します

全般的な傾向の②でまとめたように、16次は新規の応募割合が高く、これからの周知も必要であることが明らかになりました。また、16次から始めた「重点活動助成」についてもさらに応募いただきたいと考え、4月に3県(岩手県釜石市・宮城県仙台市・福島県郡山市)で団体・中間支援組織向けの説明会を開催します。残り2回の限られた機会となりますので、少しでも多くの団体に参加いただき、応募いただきたいと考えています。

### (2)ボラサポ終了後の支援について共同募金会として検討することを提言します

ボラサポは残り2回となりましたが、それで被災した方たちの課題がすべて解決するわけではないというのが委員の共通した認識です。共同募金会として通常の「赤い羽根」のしくみの中でできる支援について検討することを、ボラサポ終了時に委員会として提言したいと考えています。

#### 4. 終わりに

いよいよボラサポの「終了後」を考える時期となりました。4年が経過したとはいえ、被災地・避難先での復興の見通しはつきません。残り2回の助成でボラサポにできること、今年4月から被災3県で始まった「ボラサポ2」にこれからできることを丁寧に考えていきます。そしてボラサポが終了する時点で残された課題にはどんなものがあり、その後に必要とされることは何なのかを明らかにすることが、この委員会の最後の役割だと考えています。

以 上

赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」  
配分委員会 委員長 山崎美貴子

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第16回 助成団体一覧【速報】**

【短期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
1	NPO法人大震災義援 ウシトラ旅団	東京都千代田区	柔道整体師派遣による仮設住宅住民のための臨時整骨院開設事業	福島県いわき市	35
2	藤岡災害ボランティアサークル	群馬県藤岡市	日帰りバスツアーによる被災した海岸・河川・公共地等の清掃や、ビニールハウス解体等の支援活動	宮城県気仙沼市、福島県南相馬市	50
3	上野原・ハート	山梨県上野原市	女川町の仮設住宅の自治会と協働して、春の花見会を企画・開催し、被災住民の主体性をサポートする活動	宮城県女川町	13
4	東北ボランティア有志の会香川	香川県高松市	東日本大震災の被災者の生活復興のための瓦礫撤去とサロン活動	岩手県陸前高田市	50
5	学生よさこいチームおどりんちゅ	東京都千代田区	よさこい踊りを通じたコミュニティ形成の補助のための活動	宮城県東松島市	38
6	支援サークル「絆」	京都府久世郡久御山町	仮設住宅で生活している方たちのコミュニティ作りの手助けやサロン交流活動	宮城県気仙沼市・東松島市・石巻市	29
7	一般社団法人ゲットライプリー	東京都日野市	いわき市内のお年寄りのための昭和歌謡コンサート活動	福島県いわき市	7
8	NPO法人笑顔プロジェクト	東京都港区	避難生活をおくる子ども、母親、高齢者がより前向きに、笑顔で生活するための専門家(カメラマン・ヘアメイク)による心のケア、コミュニティ形成の支援活動	岩手県宮古市・山田町・大槌町・釜石市・大船渡市・陸前高田市、宮城県気仙沼市・南三陸町・石巻市・女川町・東松島市・七ヶ浜町・名取市・仙台市、福島県福島市・郡山市・会津若松市・白河市・南相馬市・いわき市	49
9	かながわ「福島応援」プロジェクト	神奈川県相模原市中央区	南相馬市の市民の帰還のための屋内外の片付けや清掃支援活動	福島県南相馬市	21
10	東日本震災復興応援秋祭り 準備会	東京都小平市	被災者の心の癒しと発表・交流の場を創出するための秋祭り・音楽祭の開催活動	岩手県釜石市、東京都国立市	50
11	SVB	神奈川県逗子市	南三陸町の復興支援のための農業支援ボランティア活動	宮城県本吉郡南三陸町	49



**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第16回 助成団体一覧【速報】**

【短期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
12	被災地の子どもを応援する会ほんわか	北海道亀田郡七飯町	福島の子もたちが北海道で、食育体験し地域の子もたちとの交流も行う活動	北海道亀田郡七飯町・茅部郡森町・函館市	48
13	四日市東日本大震災支援の会	三重県四日市市	三重の中高大生が宮城県東松島市・福島県葛尾村の復興に寄り添うサロン活動	宮城県東松島市、福島県双葉郡葛尾村	46
14	ボランティアセラピスト・ネットワーク	東京都世田谷区	被災者の方々へのアロママッサージや整体を通して心と体のケアのための活動	福島県いわき市・郡山市・会津若松市	39
15	川和 TEAM SMILE	神奈川県横浜市都筑区	被災地の子もたちのために手作りの花火大会を催す活動	宮城県亶理町・山元町・東松島市・多賀城市、福島県いわき市・会津若松市、神奈川県横浜市都筑区	50
16	縁プロジェクト	東京都大田区	東京大田区で行われる、被災地支援事業、第4回『絆』音楽祭開催のための活動	東京都大田区	50
17	学校法人高崎健康福祉大学	群馬県高崎市	和太鼓による保育園・児童館応援・交流事業	宮城県亶理郡亶理町・仙台市宮城野区	50
18	NPO法人えひめ311	愛媛県松山市	被災地に住む親子と愛媛県内避難者のための絆づくり保養活動事業	愛媛県松山市・今治市・西予市	50
19	NPO法人祈りの芸術 TAICHI-KIKAKU	東京都中野区	福島の被災者及び支援者のためのイギリス演劇教育による心の復興支援事業	福島県南相馬市・福島市、東京都中野区	15
20	NPO法人樹木いきいきプロジェクト	静岡県富士市	学校や公園に集う人たちのためにシンボルツリーを塩害から守る活動	宮城県東松島市・石巻市	21

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第16回 助成団体一覧【速報】**

【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
1	NPO Earth Angels	福島二本松市	復興が長期化する福島での子育て中の母親のコミュニティづくり、情報提供や相談支援事業	福島県二本松市・福島市・郡山市	234
2	つるがや元気会	宮城県仙台市宮城野区	被災地であり、かつ沿岸部からの避難者が多く住む、仙台市鶴ヶ谷地区を元気にする交流事業	宮城県仙台市宮城野区	100
3	NPO法人山形ユナイテッドアスリートクラブ	山形県山形市	東日本大震災避難者ならびに生活困窮世帯の子どもたちの健全育成を図るための学習支援事業	山形県山形市	106
4	NPO法人フォトサルベージの輪	千葉県市川市	被災者から預かった写真を修復、デジタル化して返却する活動	千葉県柏市、宮城県仙台市、福島県南相馬市	231
5	一般社団法人やまと災害ボランティアネットワーク	神奈川県大和市	「夏祭り」、「サロン活動」等を通し、網地島(あじしま)と田代島の島民のやりがいを創出し、未来ある子供たちの健全育成をめざす活動	宮城県石巻市	297
6	アニマルライフサポート福島	福島県郡山市	東日本大震災および福島第一原発事故で被災した動物とその飼い主の支援活動	福島県全域 主に帰還困難区域、帰宅困難区域、避難指示解除準備区域、葛尾村・飯館村・川内村・郡山市・須賀川市・田村市・田村郡等	279
7	共に育ち合い(愛)サロンむげん	新潟県柏崎市	被災者家族の心のケアおよび広域避難者支援ネットワークづくりの活動	新潟県柏崎市	208
8	NPO法人パウト(通称P@CT)	岩手県陸前高田市	陸前高田市復興サポートステーション継続運営のための事務所及び拠点整備事業	岩手県陸前高田市	297
9	公益財団法人名古屋YWCA	愛知県名古屋市中区	テレビ電話による福島県新地町の小学校児童生徒の心のサポート活動	福島県相馬郡新地町	232
10	奈良県被災者の会	奈良県奈良市	奈良県内の避難者の生活就労支援と交流を通じた地域コミュニティへの定着支援事業	奈良県奈良市	300
11	NPO法人あっちこっち	神奈川県横浜市中区	芸術を通しての地域コミュニティの活性化を目的とした、笑顔と音楽を届ける癒しのカフェ・コンサートを開催する活動	宮城県七ヶ浜町、福島県いわき市、神奈川県横浜市	273



**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第16回 助成団体一覧【速報】**

【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
12	NPO法人ふよう士2100	福島県いわき市	被災した障がい児とその家族のための交流サロンの運営と共助社会づくり活動	福島県郡山市・いわき市	207
13	NPO法人暮らしと耐震協議会	神奈川県平塚市	「基石海岸で囲碁まつり」開催による地域住民と県外参加者の交流事業及び、防災のための仮設住宅の家具固定等の活動	岩手県大船渡市	204
14	未来会議事務局	福島県いわき市	震災による地域の課題を被災者自らが解決して行く学びの場、繋がり場の提供する活動	福島県いわき市、兵庫県神戸市、東京都	272
15	こどものにわ	福島県二本松市	こどものための放課後の居場所づくりとアートワークショップによる心身の健全育成事業	福島県二本松市	97
16	NPO法人未来図書館	岩手県盛岡市	10年後、20年後の地域を担う小中高生と若者の復興教育育成支援事業	岩手県盛岡市・宮古市・大槌町・洋野町・花巻市	300
17	NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	福島県相馬市	原発事故による被災地域における精神障がい者及びその家族を支援する活動	福島県相馬市・南相馬市・新地町	174
18	NPO法人臨床心理オフィス Beサポート	静岡県沼津市	静岡県内の避難者のための臨床心理士による知識と経験を生かした総合支援事業	静岡県沼津市	107
19	ハッピーエイジング	神奈川県横浜市戸塚区	アロマウォーターづくりを通じ、避難者・被災者の孤立防止のための、多様な繋がり、人づくり、地域づくりを目指す活動	神奈川県横浜市金沢区周辺地域、宮城県東松島市周辺地域	258
20	山形避難者母の会	福島県郡山市	避難母子のための福島コミュニティ再構築と、在宅ワーク就労支援事業	山形県山形市を中心とした村山地区全域、福島県県北・県中地域	289
21	からだ復興支援隊・ボディケ浜	宮城県宮城郡	専門家によるマッサージや健康相談による七ヶ浜町の被災者支援活動	宮城県七ヶ浜町	100
22	桃浦浜づくり実行委員会	宮城県石巻市	震災による人口減少・高齢化に対する浜の持続的な復興へ向けた移住促進事業	宮城県石巻市	80
23	NPO法人SET	岩手県陸前高田市	陸前高田市と地元中高生の未来を自ら開拓する若者のコミュニティ創造事業	岩手県陸前高田市	295

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第16回 助成団体一覧【速報】**

【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
24	陸前高田ひのきしん隊	岩手県陸前高田市	陸前高田市を主とした仮設住宅の居住者のための生活支援活動	岩手県陸前高田市・大船渡市、宮城県気仙沼市・石巻市・女川町・東松島市・南三陸町、福島県南相馬市	104
25	一般社団法人aichikara	愛知県名古屋市中区	福島の幼児・小学生・中学生を対象とした、自由に自然に触れ学び成長する為のリフレッシュキャンプ事業	岐阜県中津川市、愛知県名古屋市	266
26	NPO法人ふくしま30年プロジェクト	福島県福島市	福島で健康で生きがいのある暮らしを回復するために、放射能について考え、伝える活動	福島県福島市	243
27	NPO法人eネット・リアス	岩手県釜石市	被災した高齢者向けタブレットパソコンの利活用促進のための体験学習会実施事業	岩手県釜石市	69
28	認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ	東京都台東区	東日本大震災に関連する被災者・周辺住民の権利保護のための調査・法律相談・政策提言活動	岩手県大船渡市、宮城県気仙沼市、東京都	271
29	NPO法人移動支援Rera	宮城県石巻市	地域住民が中心となった外出困難者のための持続的移動支援活動	宮城県石巻市・東松島市・女川町	257
30	ユースみやっこベース	いわて県宮古市	持続的な地域コミュニティ支援のための学生ボランティアコーディネート活動	岩手県宮古市	240
31	学校法人東邦大学 ボランティア部	千葉県船橋市	風化防止イベント、傾聴活動、仮設住宅での見守り訪問活動や交流事業を通じた復興支援活動	千葉県四街道市・船橋市・習志野市、福島県田村市、宮城県気仙沼市	179
32	びば！！南三陸	宮城県本吉郡	毛筆筆耕講座、植木剪定講座等の各種講座を通じた南三陸町の被災した高齢者のための生きがいサポート事業	宮城県本吉郡南三陸町・登米市	205
33	NPO法人地星社	宮城県岩沼市	宮城の復興支援団体の活動資金ヒアリングおよび運営相談事業	宮城県沿岸被災地を中心に全域	232
34	陸前高田 住まいの再建を考える会	岩手県陸前高田市	陸前高田市における次代へ継ぐ地域共同体形成のための暮らし再建活動	岩手県陸前高田市・近隣市町村、北海道旭川市、東京都23区内・および首都圏	224
35	よりはぐプロジェクト	岡山県倉敷市	子育てに不安を抱える避難者と移住者を含む地域住民の双方に共通した課題を解決するための支援活動	岡山県倉敷市	283

**赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業  
第16回 助成団体一覧【速報】**

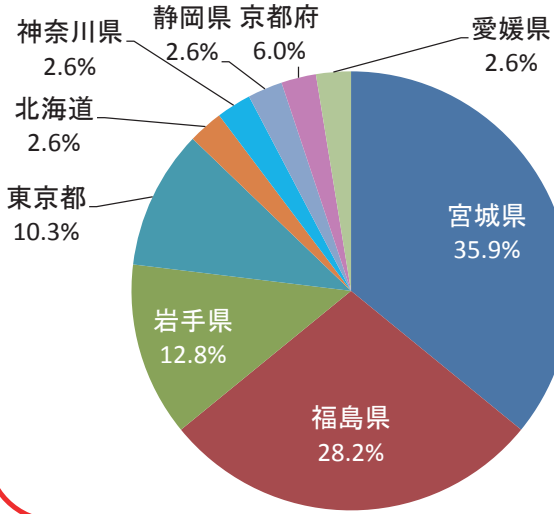
【中長期活動】					
NO	正式団体名称	所在地	活動概要	活動地域	助成金額 (万円)
36	NPO ぐるぐる応援団	宮城県石巻市	石巻の若者ボランティアを中心にした、子ども達の「あそび場」「創造の場」をつくる活動	宮城県石巻市	230
37	復興支援団体プラスネオ	宮城県東松島市	被災地住民によるコミュニティ構築と、観光産業を復活させるための支援事業	宮城県東松島市	205
38	NPO法人アスイク	宮城県仙台市宮城野区	震災の影響によって不登校になった子どもたちのための居場所となるフリースクールを開設・運営する事業	宮城県仙台市	1000
39	NPO法人レスパイトハウス・ハンズ	岩手県一関市	住民主体の復興・まちづくりを多くの団体と連携をとりながら推進するための中間支援拠点運営事業	岩手県陸前高田市	906
40	NPO法人南相馬ファクトリー	福島県南相馬市	南相馬市で活動する非営利団体のための「拠点づくり」および「情報共有促進」による支援活動活性化事業	福島県南相馬市	995
41	こども∞感ばにー	宮城県石巻市	黄金浜ちびっこ広場(プレーパーク)の敷地内に16坪のプレハブを設置し、未就学児あそび場と小学生から高校生を対象とした放課後および週末の拠点運営事業	宮城県石巻市	995

# 災害ボランティア・NPO活動サポート募金 短期活動助成金 第16次応募状況

今回の応募全件における活動内容(複数回答)について、グラフにまとめました。

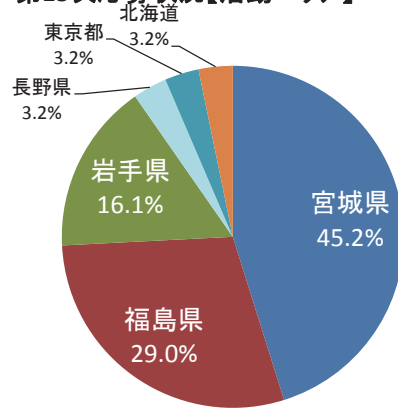


## 第16次応募状況【活動エリア】



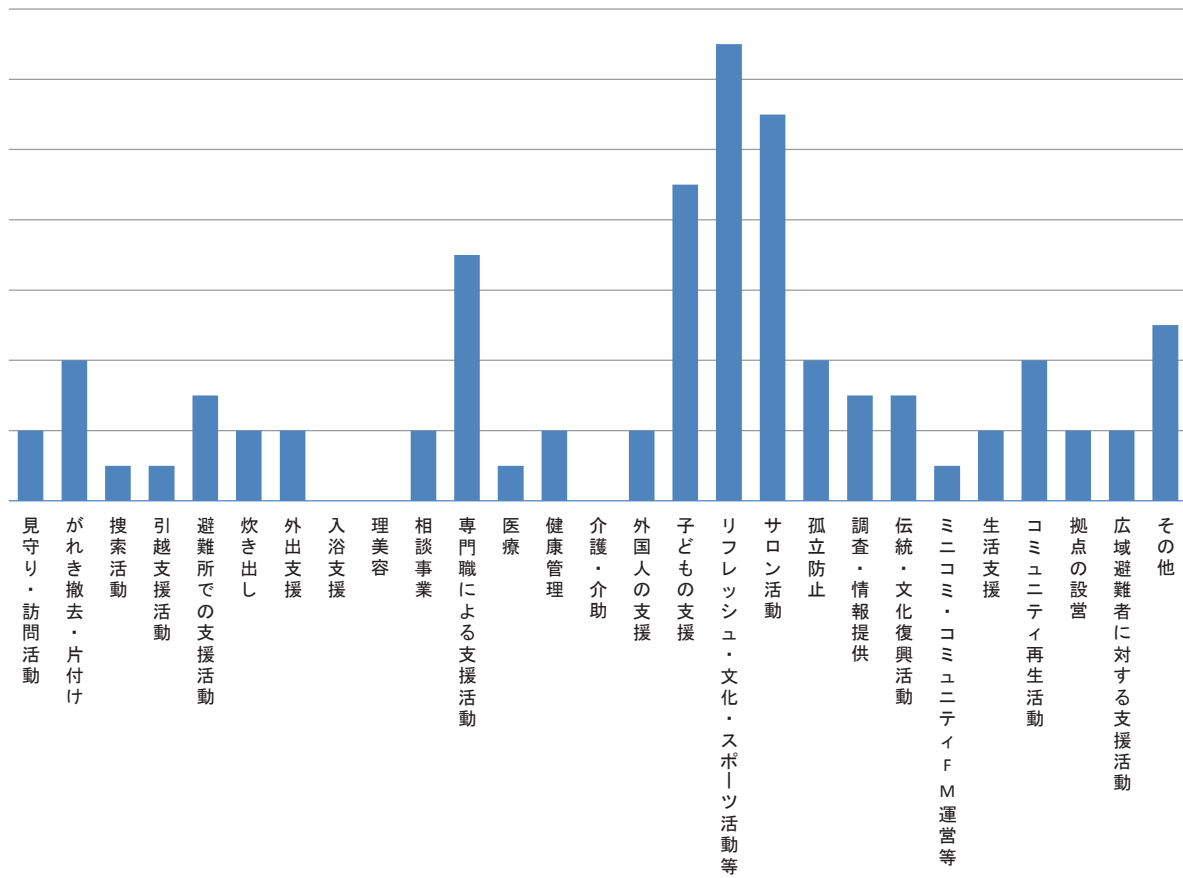
## 短期

## 第15次応募状況【活動エリア】



(応募書アンケートより作成)

## 活動内容分類

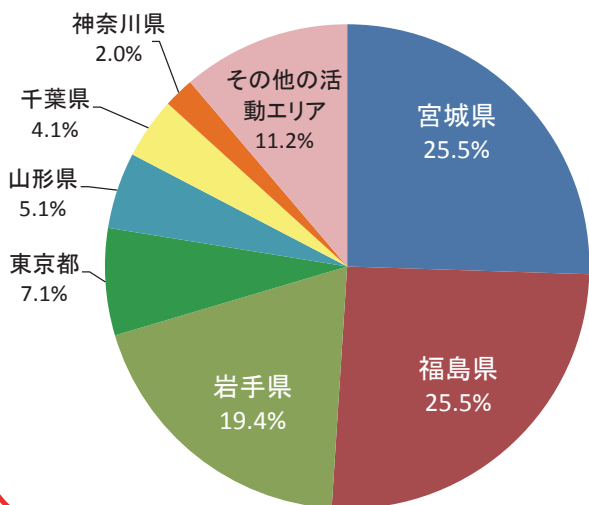


# 災害ボランティア・NPO活動サポート募金 中長期活動助成金 第16次応募状況

今回の応募全件における活動内容(複数回答)について、グラフにまとめました。

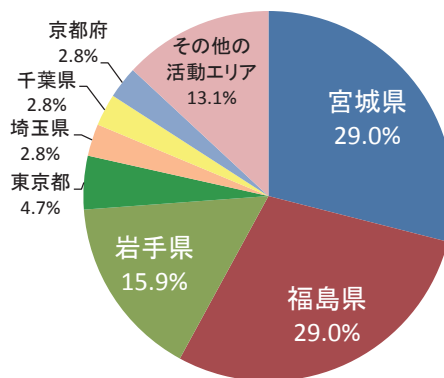


## 第16次応募状況【活動エリア】



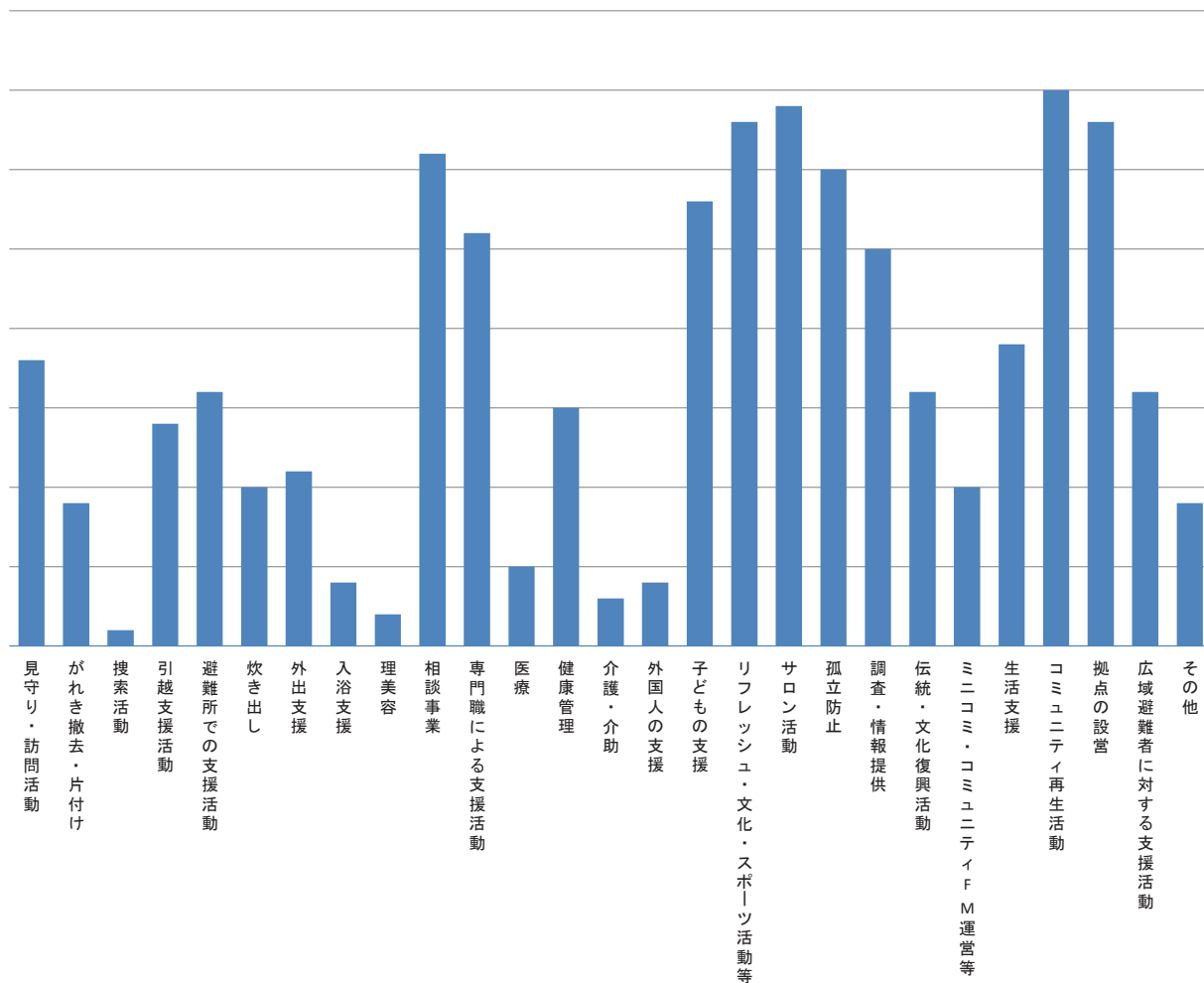
## 中長期

## 第15次応募状況【活動エリア】



(応募書アンケートより作成)

## 活動内容分類





## 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

### <配分委員会名簿>

(五十音順・敬称略)

#### 【委員長】

- 山 崎 美 貴 子 (「広がれボランティアの輪」連絡会議 代表/  
東京ボランティア・市民活動センター 所長)
- 伊 藤 道 雄 (特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター 顧問)
- 山 田 秀 昭 (社会福祉法人 全国社会福祉協議会 常務理事)
- 佐 藤 正 敏 (1% (ワンパーセント) クラブ 会長、  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社 相談役)
- 堀 田 力 (公益財団法人さわやか福祉財団 会長)
- 山 内 明 子 (生活協同組合連合会コープネット事業連合 執行役員)





## 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金

### <運営委員会委員名簿>

(五十音順・敬称略・2014年4月現在)

阿南健太郎 (一般財団法人 児童健全育成推進財団業務部課長)

安藤雄太 (東京ボランティア・市民活動センター アドバイザー)

鹿住貴之 (認定特定非営利活動法人 JUON (樹恩) NETWORK  
理事・事務局長)

古賀桃子 (特定非営利活動法人ふくおか NPO センター 代表)

斎藤仁 (一般社団法人日本経済団体連合会 政治・社会本部長)

佐甲学 (社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長/  
全国ボランティア・市民活動振興センター所長)

諏訪徹 (日本大学文理学部社会福祉学科 教授)

早瀬 昇 （認定特定非営利活動法人日本 NPO センター 代表理事/  
社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）

星野 智子（一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事）

森本 勝也（公益社団法人日本青年会議所 副会頭）

山口 誠史（認定特定非営利活動法人国際協力 NGO センター 事務局長）

山ノ川 実夏（MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス  
（株）人事・総務部 部長）

中島 謙次（社会福祉法人中央共同募金会 常務理事）